

【令和 5年度 授業改善推進プラン】

板橋区立北野小学校

【総合的な学習の時間】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調べることに意欲的に取り組んでいる。自ら関心のある資料を選択し、情報をまとめている。 ・タブレットを使つての学習では、インターネットを使つて検索することを楽しんでる。 ・調べた情報を元にじっくり考えて自分の言葉や表現方法で伝える児童もいる。また、調べたことを、効果的に分かりやすくまとめる方法が身につけていない児童もいる。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動をさせるための十分な時間や場所、道具、予算、人材等を確保することが難しい。 ・タブレットを用いての学習は、検索に追われ、必要な情報の収集に至らずに終わってしまいがちである。 ・主体的な学習を進めることの良さについて児童自身に理解させる必要がある。 ・自分の思いを皆に分かりやすく伝えることができるようなまとめ方についていろいろな経験をさせることが難しい。 ・自分で得た情報から、課題の解決に必要な情報を取捨選択する力を付けさせることが課題である。また、文献の引用・参考の仕方を身に付けさせ、調べ学習の際のルールを身に付けさせることも課題である。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の設定、情報の収集、情報の整理・分析、まとめ・表現という探求の学習過程を繰り返して指導する。 ・体験活動を重視する。身近な地域の物事を教材化できるような工夫をする。 ・タブレットの活用法について、4年間で段階的に指導していけるように、情報活用のための指導計画を立てるようにする。 ・他教科でも資料を要約したり、情報を正確に取り出したりする力を身に付けるための方法を指導していく。 ・調べるための目的を明確にし、活動を重ねながら自分の考えを深めていけるようにする。 ・児童が課題を設定して意欲的に調べることができるよう、ゲストティーチャーをお願いする等、教材に対するアプローチを考える。